

I 場所

II 学年

III 単元・教科書 Lesson3 Saint Bernard Dogs KEIRINKAN LANDMARK2

- IV 単元目標
- ・受動態の分詞構文を理解する。
 - ・完了形の分詞構文を理解する。

V 教材観

本単元はかつてスイスのサン・ベルナルドホスピスで活躍したセントバーナード犬について書かれた単元である。雪山での吹雪や雪崩の被害者を救助するのにセントバーナード犬は活躍し多くの命を救った。なかでもバリーという犬は一頭で41人もの命を救ったとして名を残し、後に財団の名前にも冠される。しかし彼らは技術の発展によって救助犬としての役割を追われることとなる。そこで売りに出された彼らに対する人々の行動から、スイス国民のセントバーナード犬への愛情や謝意が伝わってくる。

VI 指導観

本単元では受動態、完了形の分詞構文を主題に学習する。分詞構文は文章を簡潔化するためには必須の表現になる。また一般的な分詞構文についても理解度に差が表れることから、習得しにくい文法事項であると思われる。そこで、一般的な分詞構文から示して移行したり、練習問題を多く取り入れたりして確実な定着を目指す。接続詞を用いて表現する今までの形と、本単元で学ぶ分詞構文の両方を使えるようにすることで、表現に幅を出すことを目標にする。また分詞の後置修飾や現在完了形、倒置など Key Sentences における既出の文法について、生徒の発話を促しながら定着を目指す。

VII 生徒観

どのクラスの生徒も全体的な理解度は高いように感じる。しかし、Part1 のまとめテストやチャンクで英単語のテストを解いているところを見ると、クラスの中でも習得度合いに差があるように見えた。また、授業中はかなりの数の生徒から積極的な発言が見られ、質問に対する反応もよい。数人は声の小さい生徒もいたので、配慮が必要だと感じた。

Ⅷ 単元の評価基準

A 知識・技能	B 思考力・表現力・判断力	C 主体的に学習に取り組む態度
<p>・言語</p> <p>①受動態、完了形の分詞構文の形、用法を理解する。</p> <p>②Key Sentences の文法について理解を深める。</p> <p>③適切な発音で発話する。</p> <p>・文化</p> <p>④スイスの国犬であるセントバーナード犬について、彼らの果たした役割と歴史について理解する。</p>	<p>・言語活動</p> <p>①分詞構文の構造を理解し、活動の中で使用できる。</p> <p>②活動において学習した文法を使って、自分の考えを伝えられる。</p> <p>・正確な読み、聞き取り</p> <p>③分詞構文を含む文章を聞いたり読んだりして、正しく理解することができる。</p> <p>④文章の重要な部分を捉え、要約することができる。</p>	<p>・言語活動</p> <p>①積極的に発話、コミュニケーションを取ろうとする。</p> <p>②ワークにおいて、積極的に学習しようとする。</p>

Ⅸ 本課の指導計画(全 8 時間)

時	学習内容	指導上の留意点	評価基準
1	<p>・セントバーナード犬について知る。</p> <p>・新出単語の意味を把握し、本文の大枠を捉える。</p>	<p>・導入では必要に応じてセントバーナード犬についての資料を出す。</p> <p>・チャンクで英単語、New Words、導入部分で生徒の発話回数を多く設定する。</p> <p>・New Words は電子教材の活用とペアワークで定着させる。</p> <p>・Scan Reading、Questions で本文の内容をある程度つかませる。</p>	<p>A③</p> <p>B④</p> <p>C①②</p>
2	<p>・Key Sentences で重要文法を理解する。(consider O C、分詞の後置修飾)</p> <p>・Part1 の内容を把握する。</p>	<p>・Idiom は意味を提示する。</p> <p>・現在完了形に焦点を当てる。</p> <p>・consider O C は生徒を当てて、分詞の後置修飾は形容詞の例を出して解説。</p> <p>・電子黒板等の使用で重要文法は強調する。</p>	<p>A②③④</p> <p>B②④</p> <p>C①②</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・解説後、確認のために一度本文を流し、Readingに移る。 ・繰り返し読むことで形を定着させ、正しくない文章に「違う」と気づけるようにする。 	
3	<ul style="list-style-type: none"> ・セントバーナード犬がスイスの国犬になった背景にある Barry について知る。 ・Key Sentences を除く本文について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・チャンクで英単語、New Words、導入部分で生徒の発話回数を多く設定する。 ・New Words は電子教材の活用とペアワークで定着させる。 ・Scan Reading、Questions で本文の内容をある程度つかませる。 ・Idiom 等については意味を提示、過去の習慣(used to, would)に焦点を当てて解説する。 ・重要な部分は電子教材等で強調する。 ・例文は会話表現に近いものを用意する。 	<p>A②③ B②④ C①②</p>
4	<ul style="list-style-type: none"> ・受動態の分詞構文を理解する。 ・Part2 の内容を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文 Part2 の続きを理解する。 ・Key Sentence で受動態の分詞構文を理解する。 ・一般的な分詞構文も確認して提示し、違いを明瞭にする。 ・電子黒板を使用また時間を多く使うことで重要文法を理解させる。 ・解説後、確認のため一度本文を流し、Readingに移行する。 ・繰り返し読むことで文の基本形を定着させる。 	<p>A①②③④ B①②③ C①②</p>
5	<ul style="list-style-type: none"> ・セントバーナード犬の活躍以後について知る。 ・現在完了形について復習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・チャンクで英単語、教科書 New Words で発話を増やす。 ・New Words は電子教材の活用とペアワークで定着させる。 ・Scan Reading、Questions と Comprehension を生徒に自力で解か 	<p>A②③ B②④ C①②</p>

		せ、本文の内容を把握させる。	
6 本 時	<ul style="list-style-type: none"> ・Part3の内容を理解する。 ・活躍以後のセントバーナード犬について知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時に回答させた問題の答え合わせを行いながら、近い未来の予定 (will be ~ing) や現在完了形の受け身の形を解説する。 ・振り返り後、確認のため一度本文を流し、Readingに移行する。 ・繰り返し読むことで文の基本形を定着させる。 ・New Wordsの確認を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> A②③④ B②④ C①②
7	<ul style="list-style-type: none"> ・活躍以後のセントバーナード犬について知る。 ・完了形の分詞構文について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・チャンクで英単語、教科書 New Words で発話を増やす。 ・New Words は電子教材の活用とペアワークで定着させる。 ・Scan Reading、Questions で本文の内容をある程度つかませる。 ・分詞の後置修飾について復習する。 ・倒置の文について復習する。 ・完了形の分詞構文について通常の分詞構文と同じように元の文から分詞構文への過程を示す。 ・完了形の分詞構文では主文より前のことを表すと示す。 	<ul style="list-style-type: none"> A①②③ B①②③ C①②
8	<ul style="list-style-type: none"> ・Part4の内容を理解する。 ・Lesson3の内容を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時で解説した Key Sentences の訳を、生徒を当てて確認し、文法事項をおさらいする。 ・Reading 活動のために一度本文を流す。 ・繰り返し読むことで文の基本形を定着させる。 ・Lesson3の総まとめとして Comprehension で確認する。 ・ワーク実施中は机間巡視を行い補助に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> A①③④ B①③ C①②

X本時の計画

分	内容	注意事項	評価基準
1	挨拶 “Let’s begin the class, shall we?”で始める。		
4	チャンクで英単語 次の小テスト範囲を発音する(2回繰り返し)。	単語それぞれを明確に発音する。	A③ C①②
2	Listening 本文を一度流しておさらいする。	内容を思い出させる時間にする。	A④
10	Comprehension 解答確認 前回に宿題として出していた Part3 Comprehension の解答を確認する。	生徒を当てて確認する。 テンポよく行う。	A③④ C①
10	Key Sentences 解説 Key Sentences の3文それぞれの文法事項を解説する。 ①Now that S V, 形式主語の it について確認する。 ②現在完了形(継続)の受け身について確認する。 ③現在完了形(結果・完了)の受け身について確認する。	生徒を当てながら確認する。 電子黒板に表示して書き込む。	A② C①
2	Listening 本文を一度流して次の Reading 活動に備える。	発音に注意するよう促す。	A④
4	Slash Reading 電子教材で Slash ごとに音声を流し、後に続いて読ませる。	活動の前に日英対照プリントを配る。 生徒と一緒に読む。	A③ C①②
6	Read & Look-up ペアで行う。 1人3分で行う。 片方が人が Slash ごとに本文を読み、その後プリントを見ずに同じ箇所を繰り返す。 もう片方の人はそれを聞いて発音	ペアを作る。 Key Sentences の部分のみ行う。 机間巡視で活動状況を確認し、発音等を指導する。 ペアに余りが出れば自分が入る。	A③ C①②

	等を修正する。		
8	<p>Interpreter Reading</p> <p>ペアで行う。</p> <p>1人4分で行う。</p> <p>片方がSlashごとに本文の日本語訳を読む。</p> <p>もう片方の方は読まれた部分の英文を、プリントを見ずに読む。</p> <p>日本語を読む役の方は英語を聞いて発音等を修正する。</p>	<p>Key Sentences の部分のみ行う。</p> <p>机間巡視で活動状況を確認し、発音等を指導する。</p> <p>ペアに余力が出れば自分が入る。</p>	<p>A③</p> <p>C①②</p>
() = 50	<p>New Words : Homework</p> <p>Part4 New Words の意味を確認する。</p>	<p>時間があれば行う。</p> <p>生徒を当てて確認する。</p> <p>必要に応じて補足説明を行う。</p>	<p>A③</p> <p>C①②</p>